

東日本大震災

復興への願い 被災地へ



3月14日宮城県山元町

3月11日に発生した東日本大震災における被災地の一日も早い復興・復興を願い、本市は3月14日に「東日本大震災西宮市支援対策本部」を立ち上げました。

救援物資の提供

市は、甚大な被害を受けた福島県郡山市・いわき市に対して「中核市災害相互応援協定」に基づき、各市より要請のあった救援物資を提供しました。

また、3月22日～31日に市民の皆さんから救援物資を募り、会場の旧高須東小学校には大変多くの物資が集まりました。

「義援金」 市は西宮市社会福祉協議会と連携し、義援金を募集しています。

今後被災地の要望等により第2次受付を行う際は、市のホームページ等でお知らせします。

力をあわせて、希望の光を

職員が現地に

被災地で職員がさまざまな復興支援を行っています。

義援金・見舞金

市は西宮市社会福祉協議会と連携し、義援金を募集しています。

募金箱設置場所

市役所本庁舎1・2・6階、各支所、夙川市民サービスセンター、水道局中央公民館、中央・北口・鳴尾図書館、西宮市国際交流協会

義援金の募金状況

104万3577円（4月4日現在）

見舞金

3月17日、阪神・淡路大震災の被災自治体として、郡山市、いわき市、宮城県仙台市に、3月31日には岩手県盛岡市に見舞



甲子園に掲げた被災地への横断幕

金を各30万円贈りました。

さらに、中核市市長会を通じて、郡山市、いわき市、盛岡市に各100万円を贈ります。

【問合せ先】秘書・国際課（0798・35・3432）

災害ボランティア

災害ボランティアの受け入れ状況については、左記団体のホームページでお知らせします。

【問合せ先】西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター（0798・23・1142）

【問合せ先】東日本大震災電話相談窓口（0798・35・3001）

電話相談窓口を開設

市民や被災者の皆さんからの相談を受け付けています。

【問合せ先】東日本大震災電話相談窓口（0798・35・3001）

被災者は登録を

市内に避難している被災者の皆さんは市へ居住地や連絡先などの情報登録をお願いします。

【登録方法】4月11日から防災対策グループ（市役所本庁舎6階）0798・35・3546

市営住宅の提供

市は、被災者向け市営住宅50戸を提供できるように準備を進めています。

【問合せ先】住宅管理グループ（0798・35・3661）

西宮市独自の支援など

《被災者支援システムを提供》 このシステムは阪神・淡路大震災における被災者・復興支援のために、本市が独自開発した管理ツール。

救援物資の提供

○市からの救援物資

Table with 3 columns: 提供日, 提供市, 提供内容. Lists donations from Fukushima Prefecture and Iwaki City.

○市民の皆さんからの救援物資

Table with 3 columns: 提供日, 提供市, 提供内容. Lists donations from citizens and other municipalities.



3月25日、市民の皆さんから寄せられた物資が被災地へ

市職員の派遣状況（4月5日現在）

Table detailing the deployment status of city employees to various disaster-stricken areas.

派遣報告

現地で痛感した津波災害の恐ろしさ



瓦木消防署 松本 孝志さん

私は、東日本大震災における緊急消防援助隊兵庫県隊第2次の救助隊長として、3月14日～20日に宮城県南三陸町に派遣されました。

派遣地は人口約1万7000人のうち約1万人が安否不明といわれており、防潮堤は破壊され、道路は寸断、鉄骨造の建物は骨組のみが辛うじて残る程度で壊滅的な状況でした。

救助活動では、生存者の救出には至らず、何とも言い難い無力感に襲われ帰任しました。

しかし、その後いろいろな人と話をすることで、「自分たちの活動に対して、今は成果が見えないかもしれないが、今後、被災地が復興していく時の一部になっているはず」と聞き、私は、成果の有無のみを問うのではなく、被災地のために何かをすることが大切であると感じました。

Table titled '復興支援で補正予算' showing budget adjustments for disaster relief.